

昭和四年九月十八日淺間山爆發報告

群馬縣前橋測候所

本報を分ちて爆發後の實地踏査の狀況を其一とし、降灰及鳴動等の調査を其二とし、之に伴ふ地震調査を其三とす。

(其の 一)

九月二十七日爆發後の火口及其附近の狀況踏査の爲め所員を派遣し調査せしめし所によれば、左の如し。

(一) 噴火口

今回の爆發は火口底中の北東隅に位し、直徑約百米位の平圓形をなし其の深さは火口底より二三十米位と思はるゝも登山當時濃霧と噴煙の爲め測定困難にして、辛じて煙の切れ間より望見せるを以て固より精確なるものに非ず。

噴煙の現に盛なるは口の北西隅にして火口壁より落下せる岩石堆積し、其の間隙より少しく黄色を帯びたる白煙濛々として立ち昇り岩石は一帶に黄白色を呈せり。又火口底の中央部及其他硫黄様の黄色

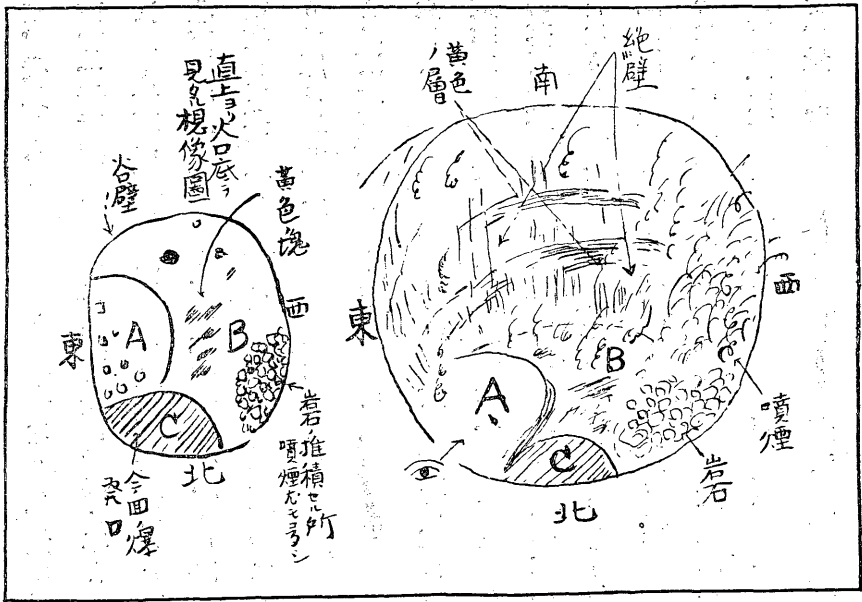
ものの散在し其附近よりも可成りの噴煙を見たり。其の他火口壁を周つて上下所々及中腹よりも噴煙しつゝあり。然るに茲に不可思議なるは今回の爆發により深められたる東北部は極めて少量の噴煙あるのみにして、其の中央部の最深所も岩石の破片に覆はれ居り、其間より白煙少しく昇るを見るのみ此爆發前の沈靜が爆發せしを以て其の蓄積せしエネルギーを消散せしものか、或は充分なる噴煙を遂げずして餘勢中間に停滯して次の爆發を蓄積するものか、宜しく學者の説に俟たざる可からざるも、恐らく後者に屬するものと考へらるれど如何。

火口は大體見取圖の如く東側A部は一段高く火口壁の上端より見掛上八九十米位にして、B部は火口底の大部分にて南方にて百二三十米の深さと認む。C部は今回の爆發口にて、B部より二三十米深さが如し。

(三) 火山岩の噴出

新火口より一様に噴出せられたる岩石も火口が北東隅なる關係か大塊は南西方に多く、南、東、西には可成多く、北東方には最も少きが如し。

西南西前掛山を隔てて約二籽半の位置にある長野測候所追分支所附近には、可成る大なる焼石落下せし由にて其痕跡未だ歴然たり其の中大なるものにありては直徑四米、深さ一米に達する位の大穴となり、其中央部に落石の埋没せるものあり。又落下と同時に破碎して四方に飛散し穴中に僅か數個の小破



片を止むるもの等あり。而して是等燒石は落下後も可成りの高温なりしと見え、其接觸せる草木を焦し、同觀測所の北西隅に落下せる大石は翌朝迄赤く見え、十八日中其附近より水蒸氣の白く上るを見たる由なり。之より進むこと五百米位にて湯ノ平（舊火口原にて草木あり火口の西方約二軒）に達すれば燒石落下の跡愈々多く、大穴所々に點在し樹木の損傷せるもの又多し。是等燒石中にて前掛山の中腹に落ち湯ノ平迄轉落せる大燒石は、火山觀測所渡邊技手の測りし所によれば周圍二十七米以上に達せりと。其轉落の際の通路は幅員約六米にて恰も森林中に直線道路を開きたる時の如く、通路の樹木は皆打折られ、押し倒され、中には周圍一米以上ある落葉松等、根本より挫折せらし居れり。此岩石は今回の爆發にて噴出せる岩石

にて、發見せられたるもの、中最大なりと。之に接近せる枝葉は皆焦げたり。前掛山を右に見て火口の北西約一籽附近にては火口に近き丈に、湯ノ平より更に多くの降石の跡あり。然れども此附近は既に草木は無く岩石の破片のみにして且つ傾斜急なると大雨後なりし爲め、痕跡の消滅多數に上れり。

北方及北東の方面は降石の跡非常に少かりしは、此方向に向つて噴出せる岩石は火口壁に遮られ、之に衝突して落下せる爲めと想像さる。視察當時は北東の風和風程度なりしを以て噴煙、南西の火口壁に傳りて靡き居り、此方面の踏査不能なりしは遺憾とする所なり。然れども長野測候所長並に同所員の談によれば此方面最も多く降石ありしと云ふ。

火口より南東方は南西に比し降石稍少かるべきも踏査の結果は最も多かりし。彌陀ヶ城岩（火口の南々東約二籽）の東附近に於ては直徑一米乃至三米位の大穴十米平方に約三四箇の割合にありて、一米以下の落石の跡は五六個所もありて、噴火當時の凄慘を偲ばしむ。之より南東に上るにつれて落石岩石は小となりしも其數は可成り多き模様なりし。火口の南東約三籽附近と思はるゝ所にて左右より幾分低く降雨の際は水路ともなるべしと思はれし所に珍らしくも直徑七米位に達せる大落石跡ありて其附近には所々に少許の雜草ありて破片此雜草を燃燒せしめしも山火事を起すに至らざりしは幸と云ふべし。尙南東に下れば次第に降石少く火口より約五籽附近峯の茶屋より追分に通ずる道路に出づる頃は指頭大の石片を少量認むる程度なり。此道路を北上すれば降石稍大となり其數も亦増加し淺間の東麓火口より東四

料許り小淺間山の南東麓なる峯の茶屋附近にては拳大の降石可成り多く中には縦十七糎五、高さ七糎、重量千四百六十二瓦に達したるものもありたり、是等の降石の雜音にて降下當時は屋内にて對話も困難なりしと云ふ。此茶屋の屋根は一面にコンクリート塗りなりしを以て些の被害も無ししが、便所の屋根及廂等は亞鉛なりし爲め所々に打抜穴を生ぜり。尙此道路に沿ひて北方に至れば約二糎弱にして本縣と長野縣との界に至る邊は一面に敷けるが如く指頭大の石片降り縣界より北約一糎半の分去茶屋(婦戀村)附近には少量の降灰ありしのみなり。

峯の茶屋より南方は約二糎位にて降石の痕跡絶ゆ。之に依つて見れば一旦上空に噴き上げられたる噴出物は上空の西風に送られて東に向ひ約四糎を通過せし頃は峯の茶屋附近を中心として約五糎の幅員となり、尙東に向ひし様認めらる。而して長野原町二度上(火口の東北東十糎)附近には小石片降り其北方東平附近にては降灰多く碓氷郡細野村にては直徑三糎大の降石あり。同九十九村にては大豆大の石片降りしと同方面より來れる營林署員は語れり。

(其の二)

由來淺間山爆發に伴ふ降砂及降灰は長野縣にあること稀にして殆ど群馬縣下にあり。是既往の爆發が夏季にあらずして其他の季節即ち北西偏風の時季に起るを以て其風上の長野は降らずして群馬にのみ降るは敢て怪しむに足らず。

降灰が養蠶に及ぼす影響は其期節と砂灰の大小によつて異なる。本年の爆發は恰も晩秋蠶の飼育中に往年も此の時期に降灰ありて晩秋蠶の全滅せし事ありしに、今回は其聲を聞かざるは幸と云ふべし。是養蠶家が從來の經驗に鑑み、其所置宜しきを得たると降灰よりは寧ろ降砂の方多く比重の關係上桑葉に粘着せるもの勘かりしによる。今此降砂及降灰に就て其概況を述べれば、噴煙は正東よりも稍南に偏し略々東微南に向ひ其の中心は碓氷郡細野村を通り安中町の北より群馬縣長野村、高崎市の上空を過ぎ前橋の南方を通り伊勢崎町の上空に至り、尙太田町、館林町、海老瀬村の上空を通過せしもの如く降灰降砂も略々此道筋の左右に末廣形を呈し先方に行くに従つて砂粒も小さく又淺間山より同距離の地にありては、煙の中心の通過せる所より左右に遠ざかるに従ひ砂竝次第に小となり降灰の最北端は利根郡桃野村に迄達し南は多野郡藤岡町、佐波郡玉村町以南に迄及び東は遠く茨城縣下に迄及びしと云ふ。本縣にては碓氷郡、群馬縣、勢多郡、佐波郡、新田郡、山田郡、邑樂郡及前橋、桐生、高崎の三市全部及吾妻郡の南部、利根郡の南西部、北甘樂、多野兩郡の東部等に降灰砂あり、其面積約二千八百四十一平方糎以上に達すべし。降下物は皆堅質の緻密なる暗綠色の岩石の破片のみにして比重二、四四強なり。

前橋測候所に於ては午前一時五十分より約一時三十分間に亘り一坪に八十九分六分の降砂あり其大さ芥子粒大なり。

管内に於ては夜半に突發せし爲め噴煙の到着時刻及降灰の始終時刻等各地明瞭ならざりしは調査上頗る遺憾とする所なれども、亦已むを得ざるなり其の概況は卷末にあり。

(其の三)

本所微動計の記象によれば今回の爆發は實に稀有に屬し爆發に伴ふ地震動の振幅は東西動に於て九十ミクロン南北動に於ては百七十ミクロンに達し昨年二月廿三日の爆發に比すれば約十倍に達せり。從つて之が空氣波動も大にして淺間火山觀測所に於ては窓硝子の破碎せられしもの十數枚、火口に直面せる東方の窓の障子は溝を破りて内側に轉落せりと。其他附近の旅舎、峯の小屋火山館にては屋根廂等に多少の被害はありしも、さしたる事なし。尤も火山館にては屋根に落下せる小燒石の爲め火を發したも直に消し止め事無きを得たりと。東方峯の茶屋にては淺間山に面せる西方は中央部六尺を除く他は屋根に達する高さに堤防を築きありし爲め此中央の六尺の所の兩戸は二枚共外方より壓されて倒れたる外無難にして只屋根廂及び便所の亞鉛葺屋根には直徑三糎以下の穴數個所を生ぜしのみ。

沓掛に於ては窓硝子の破損多數に上りし由なり。淺間黒班山(三ツ尾根山)の北側本縣嬭戀村地内山林中には燒石落下の爲め山火事を發し約一晝夜間燒けしと云ふ。其他降石により樹木の損傷はありたれ共時季既に登山期を過ぎし爲め噴火當時登山者無かりしは最も幸と云ふべし。

要するに今回の爆發は稀有に屬するにも拘はらず其人畜の被害等絶無なりしは天佑と申すべきか其被

害も亦輕微なりしは不幸中の幸と云ふべし。

群馬縣管内淺間鳴動報告

觀測地名

爆音ヲ聞キタル時刻及強弱

爆發ニ伴フ噴煙其他ノ模様

降灰降砂ノ有無及ビ其狀況

觀測地名	爆音ヲ聞キタル時刻及強弱	爆發ニ伴フ噴煙其他ノ模様	降灰降砂ノ有無及ビ其狀況
前橋市岩神町	午前一時十分 強	測候所ノ頂天ヨリ少シ南ヲ通りテ東南東ニ流ル	午前一時五十分ヨリ約一時間半坪當リ八十九匁六分(降砂)降灰多シ
勢多郡 東村花輪觀測所	午前一時十分強棚上ノ器具落ツ	不詳	降灰アリ亞鉛屋根一面ニ白ク見ユ
同 郡宮城村鼻毛石測所	同時八分 強	煙直上シ東方ニ靡ク	可成リ多クノ降灰ヲ認メタリ
同 郡 敷島村役場	午前一時二十分頃強 家屋戸障子可成震動	噴出ト同時ニ火柱ノ如キモノヲ見ル	降灰坪當リ五十九匁五分
同 郡 大胡町役場	午前一時廿分ヨリ一分位最モ強ク「ドロー」	南東ニ向ツテ流煙ス	降灰アレドモ少量
群馬郡澁川町澁川觀測所	午前一時十分ヨリ約一分間音響強	不明	
群馬縣伊香保森林測候所	午前一時十分「ドーン」氣付カズ寢居リシモノ多キ程度	一時三十分頃頂天ニ來リ主トシテ南方通過北空ハ濁ラズ	三時半頃降灰止ム 一米平方ニ三六瓦五ノ降砂
同 郡倉田村三ノ倉觀測所	午前一時十三分頃約一分間 強	東南東ニ流ル	午前一時三十分ヨリ降灰一時三十分間
同 郡 金古町役場	午前一時二十分ヨリ一分間 強	南東ニ向ツテ流レ山頂ニ火ヲ見タリ	稍粗キ降砂アリ
同 郡 箕輪町役場	十七日午後七時頃一回爆音午前一時七分大爆音	西方ヨリ南東ニ向フ	午前一時廿七分頃ヨリ二十分間位坪當リ八十九匁以上
同 郡 室田町役場	音響強ク戸障子劇シク振動	當町頂天ヲ通り南東ニ流ル	午前一時五十分ヨリ約二時間ニ互リ坪九十匁ノ降灰砂アリ
同 郡 長野村役場	午前一時頃約一分間音響強	南東ニ流ル	午時一時半頃ヨリ約二時間同村ニ降灰アリ
利根郡沼田町沼田觀測所	午前一時八分ヨリ一分間大音響	東南ニ流ル	朝迄ニ降灰アリ

同郡 川場村谷地観測所
 同郡 水上村湯原観測所
 同郡 片品村東小川観測所
 利根郡 東城根村役場
 同郡 東村役場
 同郡 桃野村役場
 吾妻郡 草津観測所
 同郡 嬭戀村大前観測所
 同郡 長野原町大津観測所
 同郡 澤田村四萬観測所
 中之條 中之條町
 中之條 觀測所
 同郡 太田村植栗観測所
 同郡 高山村役場
 同郡 山石島村役場
 同郡 坂上村役場
 碓氷郡 安中町安中観測所
 同郡 臼井町五料観測所
 同郡 松井田町役場

午前一時十二分ヨリ卅秒間
 爆音ヲ聞カズ
 午前一時十分ヨリ強
 午前一時頃地震ノ如キ震動十五秒間戸障子鳴ル
 午前一時頃音響強
 午前一時十分頃爆音アリ
 午前一時頃ヨリ約一分間頗ル強音響強
 午前一時十分ヨリ約一時間音響強
 ナシ
 午前一時十分ヨリ三分間音響強
 午前一時頃音響弱(遠雷如シ)
 午前一時十五分頃約二分間強戸障子振動ス
 午前零時三十分頃百人中三十名聞キシ程度
 午前一時八分ヨリ一分間鳴響ト共ニ戸障子ヲ振動ス
 午前一時十分ヨリ約一分間強響強
 午前一時十五分ヨリ約二分間音響強
 午前一時九分家屋振動強震ノ如シ

南西ノ空ヨリ南方ノ空へ
 認めラレズ
 不明
 見ヘズ
 ナシ
 白煙天ニ上リタリ
 噴煙火ノ粉ヲ交ヘ直上シ久シクシテ南東ニ流ル
 初メ直上漸次南東方ニ傾キ流ル東ニ折レテ流ル噴煙中ニ光リヲ見ル
 ナシ
 榛名山及本所ノ上空ヲ過ギテ南東ニ向フ
 南ヲ通り南東ニ流レ去ル
 噴煙ト共ニ火揚リ南東ニ流ル
 噴煙中火焰ヲ遠望ス
 南方ヲ通りテ南東ニ流レ行ク
 頂天ヨリ稍北ニ偏シ東ニ黒雲流ル
 頂天ヨリ少シ北ヲ通りテ北東ニ流ル
 東ニ流ル

降灰殆ント認め難シ
 山如ニ少シ降灰アリ(人ノ話)
 観測所附近ニハナシ
 ナシ
 ナシ
 ナシ
 微々タル降灰アリタリ
 降灰降砂ナシ
 ナシ
 降灰降砂殆ンド認めズ
 ナシ
 午前一時二十分ヨリ約一時間ニ互リ降灰坪百匁以上
 時刻不明ナルモ降灰アリ
 降灰アリ
 若干ノ降灰降砂アリ
 午前二時ヨリ約一時間ニ互リ降灰アリ
 午前一時二十分ヨリ約一時間降砂シ濃霜ノ如シ
 午前一時二十分ヨリ約七分間坪五十匁位
 午前一時十二分ヨリ堅實ノ石片降下セリ

同郡 坂本町 役場

午前一時五分ヨリ約一分間音響強

頂天ヲ通過シ東ニ流ル

午前一時三十分ヨリ約十分間二匁大ノ石片混リテ降砂アリ

北甘樂郡 富岡町観測所

午前一時頃ヨリ約一分間強

不明

ナシ

同郡 下仁田町観測所

午前一時十二分強

噴煙ハ碓氷郡方面ヲ東ニ流レタルガ如シ

降灰降砂等ナシ

同郡 妙義町 役場

午前一時十分爆音ト共ニ家屋動搖ス

盛ニ噴煙ヲ見ル

ナシ

同郡 西牧村 役場

午前一時前後稍強

不明

降灰降砂等ナシ

同郡 月形村 役場

午前一時十分頃一分間強

見ズ

ナシ

同郡 磐戸村 役場

午前一時十五分頃ヨリ約一分間中音

ナシ

ナシ

多野郡 上野村新田観測所

午前一時十四分ヨリ約十秒強

不知

ナシ

同郡 萬場町萬場観測所

午前一時十一分強

黒煙

降灰(粟粒大)降雨ノ如キ音ヲ聞ク

同郡 藤岡町藤岡観測所

午前一時十分ヨリ約五十秒強

北端ヲ通リテ南東ニ流ル

午前一時四十五分頃ヨリ約五分間本町東北端大字池へ極少量降灰

同郡 吉井町 役場

午前一時十分頃ヨリ約一分間烈

火焔高ク港間ノ北ニ立チ昇リシヲ望見ス

ナシ

同郡 鬼石町 役場

音響小

港間ノ方向火焔大ニ沖スルヲ見タリ

ナシ

同郡 中里村 役場

午前一時十分ヨリ約一分間強

頂天ヲ通リテ南東ニ流ル

午前一時五十分頃ヨリ相等ノチ降灰多シ

高崎市 飯塚観測所

午前一時十五分ヨリ約一分間戸障子ノ振動強シ

午前一時五十分頃頂天ヲ通過東(偏南)ニ流ル

降灰一時五十分頃ヨリ二時五十分頃二時五十分降砂ノ音ヲ聞キシヨハ二時頃ヨリ四十分間坪當リ五十二匁

佐波郡 伊勢崎観測所

午前一時ヨリ約一分間音響強

不詳

午前二時ヨリ約一時間薄霜ノ降りタル程度ノ降灰

同郡 玉村 役場

午前一時ヨリ約一分間音響強

不詳

午前二時ヨリ約一時間薄霜ノ降りタル程度ノ降灰

新田郡 太田觀測所	午前一時五分大砲ノ如シ	當時噴煙見エズ	午前一時四十分降、砂一耗位ノ小砂一面ナリ
同郡 綿打村役場	午前一時十五分頃稍強	黒煙天ニ昇リ其間ニ火焰ヲ見ル	小砂程度ノモノ稍多ク坪當リ約一合内外
同郡 笠懸村役場	午前一時六分戸障子ニ響キタリ	不明	降灰降砂木ノ葉ヲ一面ニ白クセリ
山田郡 大間々役場	午前一時十分前後約一分間ドドドノ音響戸障子可成リ振動ス	不明	翌朝足跡ヲ印スル程度ノ降灰ヲ見タリ
同郡 毛里田村役場	午前一時十六分ヨリ約一分間強	不明	午前二時頃ヨリ約一時間ニ亘リ近來稀ニ多量ノ降灰
桐生市泉町 桐生觀測所	午前一時十分弱(弱キ方)	何等異狀ヲ認メズ	午前二時過ニ至リ雲ノ如キモノ西方ヨリ流レ來リ降灰アリ
邑樂郡 館林觀測所	午前一時十二分強	夜分ニテ認メラレズ	降灰アリ木灰ヲ薄クマキタル位
同郡 小泉町役場	午前一時二十五分ヨリ二分間音響大	不明	午前二時十分頃ヨリ約一時間餘坪當リ二十匁位
同郡 富永村役場	午前一時三十分頃可成リ烈シク振動ス	港間山方面ニ僅ニ火柱ヲ認ム	翌朝降灰ヲ認ム約二十匁位ナリ
同郡 海老瀬村役場	午前〇時四十分頃音響強	天一面ニ曇リタリ	地上一面灰色ノ降砂アリ
勢多郡 下川淵村役場	鳴動強	不月	降砂アリ
同郡 富士見村役場	同	同	同
同郡 荏荳村役場	強震ノ如キ鳴動	同	同
群馬郡 惣社町役場	鳴動ヲ聞ク	同	降砂アリ

本調査ニ際シテハ丸山技手ノ踏査ノ勞ヲ謝シ長野測候所火山觀測所員ノ厚意ト管内各觀測所及各町村役場ノ御手数數ヲ謝ス

昭和四年十月七日 記

室 伏 萬 吉